

創立 50 周年を迎えて

日本フローアポリッシュ工業会
会長 楠 薫

1973 年（昭和 48 年）7 月、日本フローアポリッシュ工業会は、業界の発展向上を図ることを目的に、東西のフローアポリッシュメーカー 18 社が結集し、設立されました。

爾来 50 年が経過し、昨年創立 50 周年を迎えました。

これもひとえに、設立当時の諸先輩方のご努力、関係各位のご支援、そして何よりもこれを引き継いでこられた会員の皆様のご尽力あってのことと、心より敬意を表しますとともに改めて深く感謝申し上げます。

当工業会の目指すところは、業界の発展向上にあります。設立当初の最大の関心事は製品規格の制定にありました。

規格の制定には、会員各社の技術者が集い、幾度となく会議を重ね、昭和 53 年ようやく JFPA 規格が制定され、実施に移されました。

その後も、規格書や解説書の発行、JIS K 3920 の制定などが逐次進められていきました。これらの流れは脈々と各時代の技術者、技術委員へと受け継がれ、今日の技術委員会の活動に繋がっています。

また、洗剤の無リン化、アルキルフェノール系界面活性剤の不使用、シックハウス・シックスクール症候群、TBEP 問題への対応など、今日を迎えるまでには幾多の困難な時期がありました。その都度、会員の皆様の努力と協力によりこれを乗り越えてきました。

また一方では、ビルメンテナンス業界からの要望に応える形で、数々のメンテナンス技法の改善策も提案してきました。時代と共に、その技術は進歩し続け今日に至っています。

足元ではフローアポリッシュの需要は伸びておりませんが、コロナ禍の下では新たな需要も生み出されてきました。この先も社会の発展・変化とともにそれに呼応した新たな技術や新製品の出現があります。

今日では、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現、SDGs など、国を挙げての課題に各企業が取り組んでいます。

昨年には、欧州 PFAS 制限案が公開され、有機フッ素化合物の製造、使用、上市を禁止する動きが広がっています。企業は新たな開発にしのぎを削っているところであり、その中からまた新たな需要も生まれてきます。

幸い当工業会にはフローアポリッシュ・洗剤メーカーとして長年培ってきた製品開発やビルメンテナンス技法の技術の蓄積があります。これを駆使して、次世代の製品開発、ビル管理システム開発へと繋げ、当工業会のさらなる成長とビルメンテナンス業界の発展に貢献していきたいと念願しています。

節目の年を迎え、皆様と共に次の 50 年に向けてたゆまぬ努力を重ねて参りたいと存じます。今後とも、会員相互の連携と工業会活動への皆様のご理解ご支援を宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とますますのご活躍を祈念して創立 50 周年の言葉といたします。